



みどりの風



令和4年9月26日発行

価値ある行事で生き抜く力を育成

校長 安藤 晋哉

9月も後半、朝方は涼しくなり、秋の兆しを感じられるようになってきました。

夏休み明け早々から「体育大会」の練習・準備・本番とハードなスケジュールを乗り越え、実りのある素晴らしい体育大会ができました。ご覧になられた保護者の皆様は、本校生徒の輝く姿と完全燃焼した充実の表情を見ていただけたことと思います。

また、大会前日や当日では、親力部やPTA役員など多くの方々に、ご支援・ご協力をいただいたことに心から感謝いたします。

今後も、生徒たちの成長を見守り、学校の教育活動へのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

私自身、体育大会を終え、改めて学校の存在意義と学校行事の価値、その大切さを再認識しました。

生徒たちは体育大会の準備から終了するまでの全体を振り返り、以下のことを感じ、学んだことと思います。

- ・中学校生活での思い出の1ページになる
- ・競技に参加する楽しさを味わう
- ・自分の役割をやり抜く
- ・組や学級単位で一つの目標に到達する達成感
- ・集団で行動する協調性
- ・他者とコミュニケーションしながら自己調整する 等

これらの多くは、今よく言われる非認知能力（社会生活を送るために重要とされる数値では図りにくい能力）であり、これからの予測困難な時代を乗り越えていくために注目されている力です。学校は「学力」をつけることが大きな責務ですが、この「学力」は、テストなどで数値化される認知能力だけでなく、この非認知能力も身につける必要があると考えます。

とすれば、日々の各教科の授業だけではなく、学校行事にも一生懸命取り組ませることも学校の責務といえます。

私たちは今後も体育大会をはじめとする学校行事は学校ならではのものであり、生徒たちの思い出に残ると同時に、これからの社会を生き抜くために重要な能力を身につける価値あるものであることを、しっかり受け止め、教育活動を進めていきたいと思えます。

PTA愛校作業

雨天順延し、8月28日に実施しました。コロナ禍の中でしたが、たくさんの方に参加していただき、校庭や校舎の屋上まできれいになりました。ご協力ありがとうございました。



登下校時の車での送迎について

地域から、近隣の店舗に送迎の車両が駐車し、迷惑をかけている状況や学校周辺の道路の両側に送迎車両が駐車し、車の走行の妨げになったり、通行している生徒が駐車している車に隠れて見えなかったりするので危険であるとのお知らせがありました。本校では、特別な場合を除いて原則徒歩か自転車通学となっています。ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

なお、ケガ等で送迎が必要な場合は、担任へご相談ください。